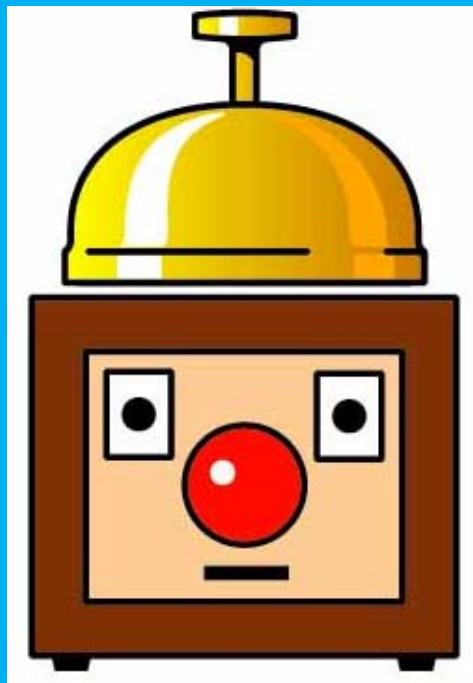


2008年3月期 第3四半期決算説明会



2008年2月8日(金)

日本テレビ放送網株式会社

本説明会及び資料の内容には、将来に対する見通しが含まれていることがあります。
しかし、実際の業績はさまざまな状況変化や要因により、これらの見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。ご了承下さい。



目次

第3四半期決算業績	P	4
損益計算書	P	5
単体損益計算書詳細	P	6
放送収入	P	8
事業収入	P	11
番組制作費	P	12
通期業績予想	P	13
設備投資額と減価償却費予想	P	15
中期経営計画の目標	P	17
視聴率の改善・順調な放送収入	P	18
巨人戦コンテンツ価値強化戦略	P	21
編成戦略	P	25
主な映画ラインナップ	P	33

第3四半期決算業績

連結決算

- 放送収入の減少をその他収入でカバー
- 文化事業は引き続き好調

単体決算

- スポットのシェアがアップ
- 事業収入が大幅増加

視聴率

- 1月月間は全日・プライム・ノンプライムで1位
- コアターゲットも大幅改善

損益計算書(連結)

(単位:百万円未満切捨)

	2006年度 4－12月期	2007年度 4－12月期	伸率
売上高	254,433	255,250	0.3%
営業利益	21,288	18,205	△14.5%
経常利益	24,125	21,156	△12.3%
四半期純利益	12,982	9,465	△27.1%
	2006年度 10－12月期	2007年度 10－12月期	伸率
売上高	88,563	89,745	1.3%
営業利益	8,816	7,747	△12.1%
経常利益	9,497	8,491	△10.5%
第3四半期純利益	5,212	5,132	△1.5%

損益計算書(単体)

(単位:百万円未満切捨)

	2006年度 4－12月期	2007年度 4－12月期	伸率
売上高	216,125	216,582	0.2%
営業利益	14,652	12,834	△12.4%
経常利益	17,124	14,725	△14.0%
四半期純利益	10,045	6,044	△39.8%

	2006年度 10－12月期	2007年度 10－12月期	伸率
売上高	74,979	76,116	1.5%
営業利益	6,705	6,297	△6.1%
経常利益	7,121	6,651	△6.6%
第3四半期純利益	4,194	3,994	△4.8%

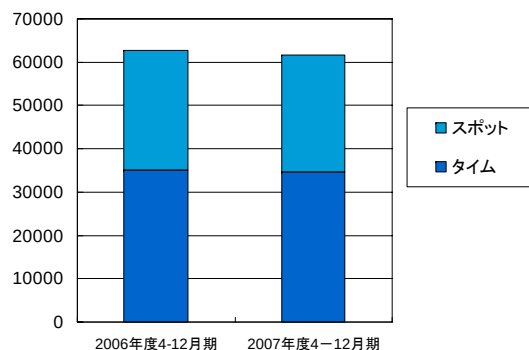
セグメント別売上高および営業利益

(単位: 百万円未満切捨)

		テレビ放送 事業	文化事業	その他の 事業	合計	消去 又は全社	連結
主な連結会社		・日テレグループ HD ・NiTRO ・AX-ON ・日テレアート	・日テレイパッツ ・日本テレビ音楽 ・パップ	・日本テレビサービス ・日本テレビワーク24 ・日本テレビフットボールクラブ ・フオアキャストコミュニケーションズ			
売上高	2007年度 4－12月期	194,769	56,285	11,509	262,563	△7,313	255,250
	2006年度 4－12月期	199,721	49,889	11,273	260,883	△6,450	254,433
	前期比	△4,952	6,396	236	1,680	△863	817
営業 利益	2007年度 4－12月期	21,279	5,137	1,791	28,208	△10,002	18,205
	2006年度 4－12月期	25,043	5,172	1,147	31,362	△10,074	21,288
	前期比	△3,769	△35	644	△3,154	72	△3,083

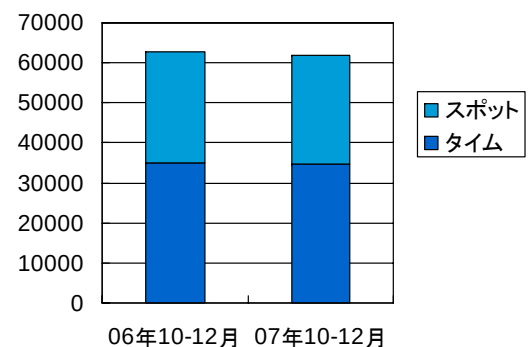
放送収入(単体)

(単位: 百万円)



	2006年度 4-12月期	2007年度 4-12月期	比較	伸率(%)
放送収入合計	184,251	180,000	△4,251	△2.3
タイム	103,098	100,859	△2,238	△2.2
スポット	81,153	79,140	△2,012	△2.5

(単位: 百万円)



	2006年度 10-12月期	2007年度 10-12月期	比較	伸率(%)
放送収入合計	62,803	61,705	△1,098	△1.7
タイム	35,127	34,643	△484	△1.4
スポット	27,675	27,062	△613	△2.2

⁵⁵ 業種別スポット売上順位(4月-12月)

	07年度 4月-12月	シェア	伸率(%)	06年度 4月-12月	シェア	伸率(%)
1	化粧品・トイレタリー	8.4	△ 11.7	化粧品・トイレタリー	9.3	△ 2.5
2	電気機器	8.4	△ 11.2	電気機器	9.2	3.7
3	運輸・通信	7.3	0.9	輸送機器	8.0	△ 4.1
4	薬品	7.2	18.5	運輸・通信	7.1	△ 1.7
5	非アルコール飲料	6.7	△ 7.1	非アルコール飲料	7.0	13.4
6	輸送機器	6.6	△ 20.3	アルコール飲料	6.8	△ 5.6
7	アルコール飲料	6.5	△ 5.9	金融・保険業	6.7	△ 27.3
8	金融・保険業	4.8	△ 29.7	薬品	5.9	△ 6.5
9	映画・演劇興行	4.6	14.6	スポーツ・趣味用品	4.3	36.6
10	サービス	4.6	30.4	映画・演劇興行	3.9	13.3
	その他	34.9	6.9	その他	31.8	△ 9.6
	合計	100	△ 2.5	合計	100.0	△ 6.6

業種別スポット売上順位(10月-12月)

	07年度 10-12月期	シェア	伸率(%)	06年度 10-12月期	シェア	伸率(%)
1	電気機器	10.5	△ 9.2	電気機器	11.3	△ 4.8
2	薬品	8.7	30.3	化粧品・トイレタリー	8.9	△ 2.7
3	運輸・通信	8.4	2.8	輸送機器	8.2	△ 3.1
4	化粧品・トイレタリー	7.7	△ 15.1	運輸・通信	8.0	23.8
5	輸送機器	5.7	△ 32.8	薬品	6.5	4.9
6	映画・演劇興行	5.6	60.9	金融・保険業	5.6	△ 43.1
7	アルコール飲料	4.8	△ 10.2	スポーツ・趣味用品	5.5	44.5
8	スポーツ・趣味用品	4.8	△ 15.1	アルコール飲料	5.3	△ 8.7
9	非アルコール飲料	4.8	3.1	非アルコール飲料	4.5	13.7
10	金融・保険業	4.8	△ 16.0	精密・事務機器	4.1	△ 1.0
	その他	34.3	4.6	その他	32.0	△ 9.3
	合計	100	△ 2.2	合計	100	△ 5.6

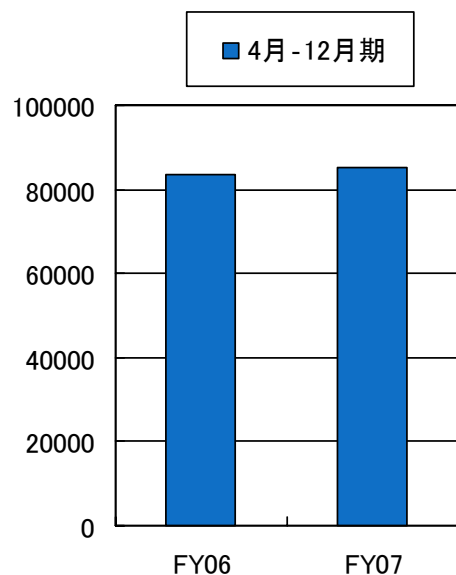
事業収入(単体)

(単位:百万円)

事業種別		2007年度 4－12月期	伸率(%)	2007年度 10－12月期	伸率(%)
イベント	イベント	4,142	△9.3	1,131	△34.0
TV	BS・CS・ CATV他	3,486	13.5	1,216	18.9
コンテンツ	ライツ	1,553	6.1	615	3.7
	海外番販	1,052	32.3	178	△36.4
	通販	6,455	65.6	2,370	49.2
	出版	729	△31.9	365	△13.9
	映画	8,268	26.5	4,921	67.3
	その他	410	177.0	82	△32.7
合計		26,095	21.1	10,877	25.2

番組制作費(単体・管理ベース)

(単位:百万円)



	2006年度 4-12月期	2007年度 4-12月期	比較	伸率(%)
番組制作費	83,470	85,094	1,623	1.9

(単位:百万円)

	2006年度 10-12月期	2007年度 10-12月期	比較	伸率(%)
番組制作費	27,703	28,435	732	2.6

10-12月期制作費の特徴

- ・「おもいっきりイイテレビ」「ドラバラ」(『ザ・ワイド』YTV制作の終了)「ロコミジョニー」といった午後帯の大幅改革に伴う増加
- ・全般的なコストコントロールは継続

通期業績予想

(単位:百万円)

連結	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
11月発表	335,000	20,000	23,500	10,000
5月発表	335,500	18,500	21,500	11,500

単体	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
11月発表	286,000	13,000	15,500	6,500
5月発表	287,000	10,500	12,500	7,000

前提

5月発表	上期	下期	通期		11月発表	上期実績	下期	通期
タイム	△3.9%	2.0%	△0.9%		タイム	△2.6%	△2.6%	△2.6%
スポット	△1.2%	2.5%	0.7%		スポット	△2.6%	△1.6%	△2.1%
制作費(*)	4.1%	9.5%	6.8%		制作費(*)	1.6%	5.1%	3.3%

制作費(*)は、単体の管理ベース数値の前年比です。
11月1日発表のものと変更ありません。

セグメント別予想

(単位: 百万円)

		テレビ放送 事業	文化 事業	その他 の事業	合計	消去 又は全社	連結
売上高	11月 予想	260,100	69,600	14,800	344,500	△9,500	335,000
	5月予想	265,900	62,600	14,700	343,200	△7,700	335,500
営業 利益	11月 予想	26,000	4,600	2,300	32,900	△12,900	20,000
	5月予想	26,000	4,700	2,500	33,200	△14,700	18,500

「テレビ放送事業」

- 放送収入は、テレビ広告市況を反映し、減収を予想
- 制作費はコントロール

「文化事業」

- 日本テレビ音楽および通販事業は引き続き好調
- VAPはオーディオ商品の割合が増加
- 3月末公開の幹事映画「Sweet Rain 死神の精度」が年度内コスト先行

「その他の事業」

「消去または全社」

- フットボールクラブへの運営委託金の支払(フットボールクラブの収入)が影響
- 「全社」では、諸経費などで全般的にコストコントロール

*11月1日発表のものと変更ありません。

55 設備投資額と減価償却費予想

(単位:億円)

〈連結ベース〉	設備投資予想	減価償却予想
2007年度	46 (68)	126

(単位:億円)

〈単体ベース〉	設備投資予想	減価償却予想
2007年度	38 (63)	119
2008年度	74 (97)	105 (124)
2009年度	95 (89)	101 (120)
2010年度	87 (84)	107 (115)
2011年度	75 (60)	103 (104)

* 今回、見直しました。()は、前回までの予想数値です。



中期経営計画の目標

放送収入で売上NO.1

- ・ 視聴率UP
- ・ コアターゲット視聴率UP
- ・ スポットシェアUP
- ・ さらなるクロスメディア広告の開発

コンテンツ流通で売上NO.1

- ・ コンテンツ価値最大化戦略 「デスノート」のグローバル展開

放送外収入で伸び率NO.1

- ・ 大ヒット作品 連発の映画事業
- ・ 大幅な伸びが続く通販事業
- ・ 新会社「日テレ7」の展開
- ・ 第2日本テレビの強化

視聴率の改善

世帯視聴率がアップ

- ・ **段階的タイムテーブル構造改革の成功**

成果 ・07年度下半期 全日・ゴールデン・プライム・ノンプライムすべて2位

成果 ・08年1月月間は全日・プライム・ノンプライムで1位 ゴールデンは2位

コアターゲットも大幅改善

- ・ 全日・ゴールデン・プライム・ノンプライムすべての時間帯でアップ



スポット収入の好調(12月前年比 6.3%増)

- ・ スポットシェアのアップ

22.2%(2006年度10-12月期)→23.2%(2007年度10月-12月期)

- ・ 新規スポンサーの獲得

順調な放送外収入

大ヒット作品が続く映画事業

- ・「ALWAYS 続・三丁目の夕日」・・・興行収入 **約45億6000万円**
- ・「マリと子犬の物語」・・・興行収入 **約30億円**
- ・「陰日向に咲く」(1月26日公開)・・・興行収入 **約8億5000万円** 好調な伸び
- ・「L change the WorLd」 **日本映画史上初 2月9日 韓国、台湾、香港、タイでも同日公開**

大きく伸びる通販事業(4-12月期)

- ・ 収入・・・約64億5500万円(前年比**65.6%**増)
- ・ 利益・・・約11億5800万円(前年比**102.4%**増)
- ・ **日テレ7・・・1月から深夜番組「日テレ7 続きはネットで・・・」スタート**

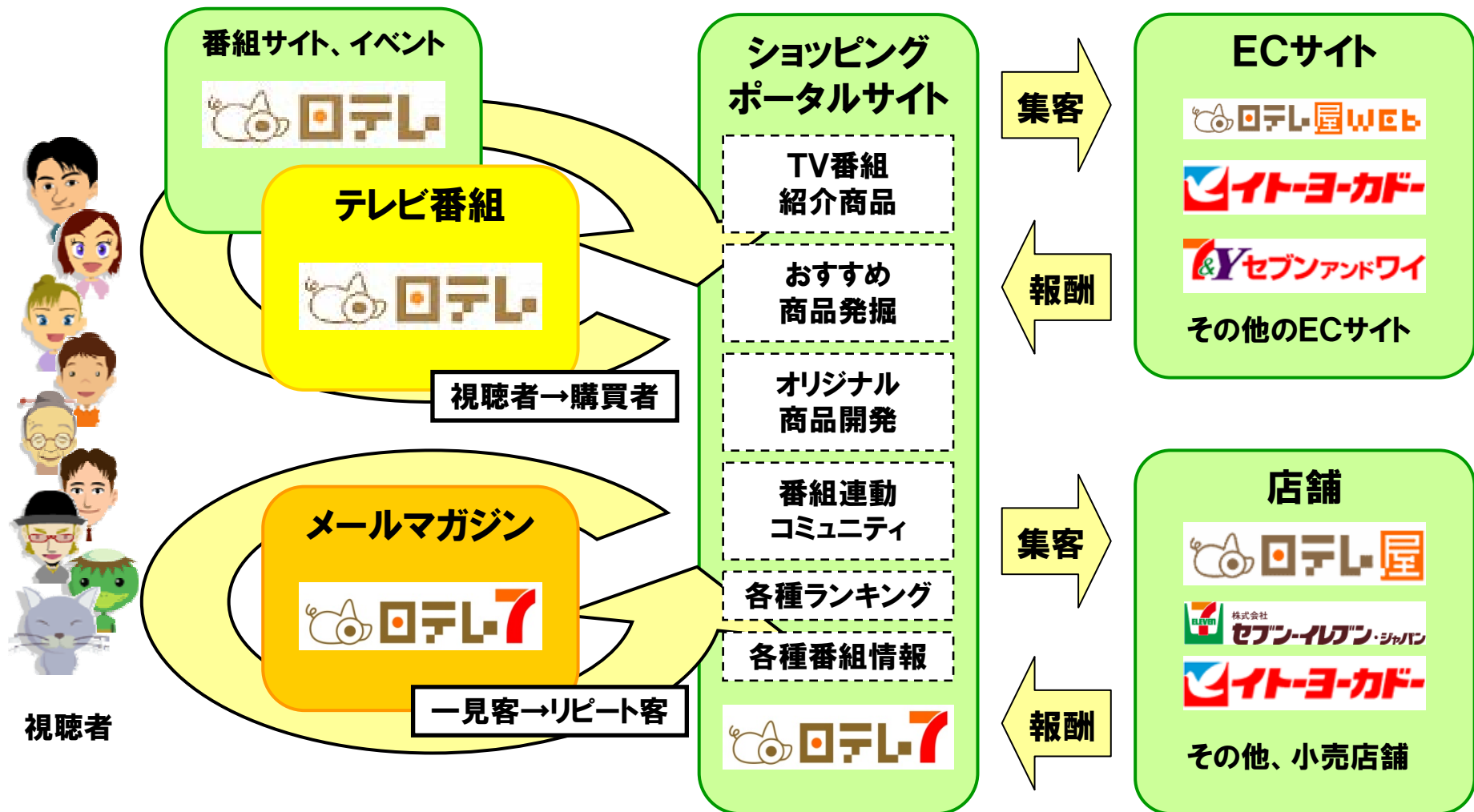
「メディアと消費の融合を指す」

事業ポートフォリオ改革の着実な進行

売上高に占める放送収入の割合 中期経営計画の目標 **74.2%** 19

05年度 70.1% 、 06年度 70.4% 、 07年度 **70.9%**

55 ロテレ ショッピングポータル事業の概略



視聴者から消費者へ



・ワンセグサービスで巨人戦延長部分を放送

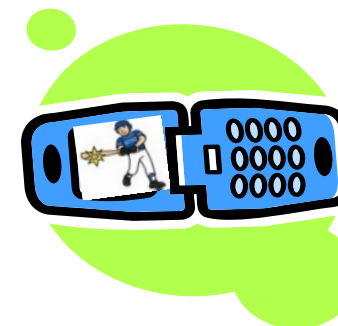
・デーゲームの増加（2→7試合）

→ 若年層ファン獲得の中長期戦略 （ナイター 38→34試合）

・BS放送は放送時間を拡大

→ BSデジタル放送受信機の普及（速報値 3200万台）

・インターネット配信の拡充



**日テレならではのWebプロモーションプランが
新規の広告獲得につながっています！**

NikeとiPodのコラボレーションによるランニングツール「Nike+」。「Nike+」による走る楽しさを、「第2日本テレビ」を始めとする日テレデジタルコンテンツにより増幅させる、クロスメディアプロモーション企画を実施中です！

RUN! With YOUR NEW FRIENDS
Web サイト



Nike+ 公式サイト nikeplus.nike.com

例えば...

☆若手芸人コンビ対抗! 日本列島縦断レース!

ほぼ毎日更新ブログ+動画コンテンツ(第2日テレ)

☆タイトル動画コンテスト

☆ファン対抗RUNNING大会の勝者は日テレジェニックとさんま御殿に出演!(日本テレビ) などなど

実施期間: 2007年12月12日~2008年3月末予定

※Nike+とは?

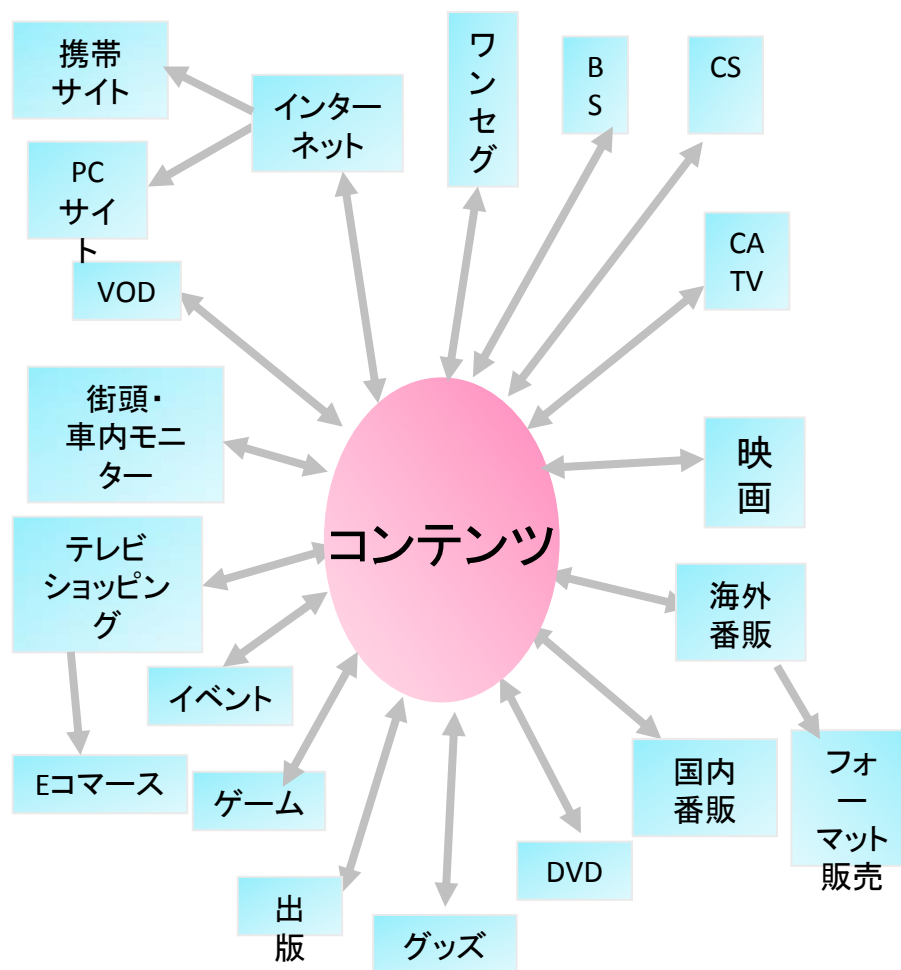


「Nike+」はiPod nanoと一緒にジョギングするための製品。センサーをシューズにセットし、レシーバーをiPod nanoに装着するだけで、ランニング中に音楽を楽しみつつ、ペース、距離、カロリーなどの情報を音声とディスプレイで確認することができます。

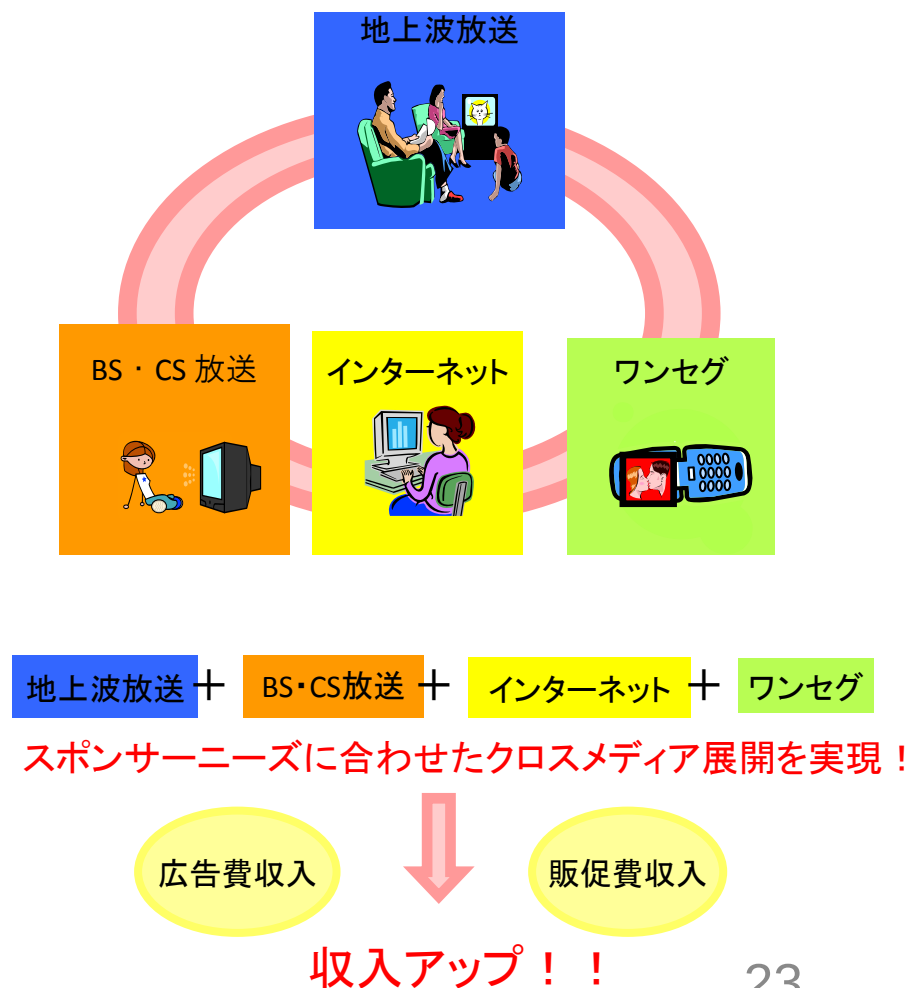
また、ランニング後にiPod nanoをドックに乗せれば、自動的にデータがnikeplus.comに蓄積されて、自分のデータを管理することが可能です。このデータをもとに、友達や世界中の人と競い合うことができるという訳です。

55 マルチコンタクトポイント戦略とクロスメディア広告

マルチコンタクトポイント戦略



クロスメディア広告



編成戦略

タイムテーブルの構造改革、順調に進行中

2006年10月期

- ・ 23 時台の改革 「NEWS ZERO」の開始

2007年4月期

- ・ ゴールデン・プライムタイムの大改革(プライム30%超の大改編)
→週末レギュラー番組の安定

2007年10月期

- ・ ノンプライムの見直し・改革→ターゲットの大幅改善

2008年4月期

- ・ ゴールデン・プライムタイム・全ゾーンの補強

タイムテーブルの現状分析

<2007年度下期(10月期)視聴率>

- ・ * 2008年1月第5週まで、関東地区
- ・ 全日 8.5% (昨年同期+0.2%) CXとの差が0.4%改善し、▲0.4%に
- ・ プライム 12.9% (昨年同期+0.7%) CXとの差が1.1%改善し、▲1.1%に

<2007年度下期(10月期)コアターゲット>

- ・ 全日 3.8% (昨年同期+0.4%) コアターゲット上昇率NO1はNTV!
- ・ プライム 6.9% (昨年同期+0.6%) コアターゲット上昇率NO1はNTV!

<2008年1月期視聴率>

第1週 全日・ノンプライム 1位
 第2週  **四冠王!!** 
 第3週 全日・プライム 1位
 第5週 **三冠王**(全日、プライム・ゴールデン1位)!!



タイムテーブルの構造改革が成果を挙げ、確実に上昇機運に乗った! 25

視聴率状況

下半期（2007年10月1日～2008年2月3日）

	NTV	TBS	CX	EX	TX	HUT
全日	8.5	7.5	8.9	8.2	3.8	43.6
昨年同期	8.3	7.8	9.1	7.7	3.8	43.0
プライム	12.9	11.0	14.0	12.9	7.8	64.9
昨年同期	12.2	12.7	14.4	12.6	7.8	65.3
ゴールデン	12.8	11.2	14.1	12.2	8.2	66.3
昨年同期	11.9	13.0	14.0	11.9	8.4	66.2
ノンプライム	7.3	6.5	7.4	6.9	2.6	37.5
昨年同期	7.2	6.3	7.6	6.3	2.6	36.7

視聴率状況

2008年1月月間視聴率

	NTV	TBS	CX	EX	TX	HUT
全日	 9.2	7.7	8.8	8.0	4.0	45.1
昨年同期	8.9	8.1	8.9	7.9	3.9	44.3
プライム	 13.4	11.4	13.2	12.5	7.7	65.4
昨年同期	12.5	13.0	13.7	12.8	7.6	65.7
ゴールデン	13.2	11.5	13.6	12.0	8.1	66.8
昨年同期	12.2	12.8	13.7	12.1	8.1	66.6
ノンプライム	 8.0	6.6	7.5	6.8	2.9	39.2
昨年同期	7.9	6.7	7.5	6.5	2.8	38.2

好調の要因

ポイント①

プライムタイム週末レギュラーは絶好調

- ・(土)『天才！志村どうぶつ園』昨年同枠の3.8%UP 『世界一受けたい授業』…10月期平均16.0% 『エンタの神様』…10月期平均15.3%
- ・(日)『ザ!鉄腕!DASH!』…10月期平均17.0% 『世界の果てまでイッテQ!』昨年同枠の3.9%UP 『行列のできる法律相談所』10月期平均18.1%

ポイント②

木曜・金曜も前年よりアップ

- ・(木)『モクスペ』…昨年同枠の0.7%UP 『秘密のケンミンSHOW』…昨年同枠の3.5%UP
- ・(金)『ぐるぐるナインティナイン』…10月期平均 14.5% 『太田光の私が総理大臣になったら』…昨年同枠の1.5%UP

ポイント③

ドラマ3枠の個性化に成功

- ・(火)22時 T層メインにエッジの効いたエンタテインメント路線 『探偵学園Q』『有閑倶楽部』『貧乏男子』
- ・(水)22時「女性の生き方」シリーズ 『ハケンの品格』『ホテルノヒカリ』『斎藤さん』
- ・(土)21時 親子視聴で楽しめるエンタテインメント 『マイ☆ボス マイ☆ヒーロー』『受験の神様』『1ポンドの福音』

ポイント④

BCタイム、ベルト番組が好調

- ・『ズームインSUPER』
10月期平均11.5%(前期比+1.4%)、同時間帯トップ独走
- ・『スッキリ!!』
昨年同時期より1.7%アップ
- ・『ラジかるッ』
昨年同時期より2.0%アップ、同時間帯トップ独走
- ・『おもいっきりイイテレビ!』
若い層にも視聴層拡大。1月21日週平均6.8%過去最高
- ・『NEWS ZERO』
M2・F2に好感。1月14日週平均8.4%は過去最高

2008年4月改編

『タイムテーブルの構造改革』仕上げの時期

プライムタイムの弱点＝週前半の強化

- ・(月)21時 『人生が変わる 1分間の深イイ話』
・・・エースディレクター投入でCXの最強ゾーンに挑戦
- ・(火)21時 『The M』・・・音楽バラエティでドラマへの流れを強化
- ・(水)20時 『日本史サスペンス劇場』・・・期末期首特番のレギュラー化

ドラマの更なる強化

- ・(火)22時 『おせん』
- ・(水)22時 『ホカベン』
- ・(土)21時 『ごくせん』

平日のベルト番組復活で、更なる全日強化

- ・13時55分～14時55分 『情報ライブ・ミヤネ屋』 YTV制作
- ・14時55分～16時53分 『アナ☆パラ』 新・情報生番組

編成トピックス

野球中継

- 地上波、BS、インターネットなど、ウィンドウを駆使して視聴者の接触を高める戦略 →2008シーズンはワンセグも！
- 野球支援番組やレギュラー番組でも情報を伝え盛り上げ

単発番組

- 開局55年記念番組
→ドラマ、バラエティ、カルチャーなどあらゆるジャンルを網羅
- 祝日や2夜・3夜連続などインパクトある編成

その他

- 『エコウィーク』などキャンペーン戦略週
- 充実した『金曜ロードショー』のラインナップ

スポーツ特番

今期のおもなスポーツ特番

タイトル	日程	摘要
東京マラソン2008	2月17日	北京五輪男子代表選手選考を兼ねた大会
第26回 横浜国際女子駅伝	2月24日	北京五輪を前にオリンピック代表選手が続々出場
'08リコーMLB開幕戦	3月22日 ～25日	巨人とプレシーズンゲーム(22日、23日)と ボストン・レッドソックス VS オークランド・アスレ チックス の開幕戦(25日、26日)

北京オリンピック 日本テレビの主な中継種目

種目	日程	競技時間(日本時間)
競泳・決勝(男子200M 平泳ぎ準決勝 他)	8月13日	11:00～12:50
柔道・予選(男子90Kg 級、女子70Kg 級)	8月13日	13:00～17:30
陸上・女子マラソン	8月17日	8:30～12:20
体操・種目別決勝(男子平行棒 他)	8月19日	19:00～21:15
ソフトボール・準決勝 / 3位決定戦	8月20日	10:30～15:00/18:00～20:00

・競技時間と放送時間は異なる場合があります。上記以外にも総集編ほか、放送予定です。

55 2007年度主な映画ラインアップ

	タイトル	公開	配給	摘要
幹事作品	東京タワー オカンとボクと、時々、オトン	4月14日	松竹	興行収入18.8億円/観客動員156万人 10月24日にDVD発売
幹事作品	舞妓 Haaaan!!!	6月16日	東宝	興行収入20.8億円/観客動員163万人 12月12日にDVD発売(レンタル12月7日)
幹事作品	ALWAYS 続・三丁目の夕日	11月3日	東宝	2005年度大ヒットのALWAYS の続編 興行収入約45.6億円/観客動員約373万人 (2月7日現在)
幹事作品	マリと子犬の物語	12月8日	東宝	中越地震の実話から生まれた感動大作 興行収入約30億円/観客動員約260万人 (2月7日現在)
幹事作品	L change the WorLd	2月9日	ワーナー・ブラザース	大ヒット映画DEATH NOTEの スピンオフ。 日本、韓国、香港、台湾、タイ同日公開。
幹事作品	Sweet Rain 死神の精度	3月22日	ワーナー・ブラザース	原作は伊坂幸太郎。 出演:金城武、小西真奈美、富司純子 他
	陰日向に咲く	1月26日	東宝	劇団ひとりの大ベストセラー小説の映画化 大ヒット上映中 興行収入約8.5億円/観客動員約67万人 (2月7日現在)

* 2007年度は、上記を含め全部で16作品に出資の予定です。

2月8日現在、「ALWAYS 続・三丁目の夕日」「マリと子犬の物語」「陰日向に咲く」が上映中です。

55